



平成 30 年 5 月 25 日

各 位

株式会社 赤阪鐵工所

船用防音室「malie」販売開始

この度、弊社株式会社赤阪鐵工所では、予てより開発を進めておりました防音室に関し商品化の目処がついたことから、このたび国内造船所向けに船用防音室「malie」として販売を開始しました。

従来より陸上住宅において楽器などの騒音対策として使用されていたパネル組立式防音室が、集合住宅における固体伝播音にも大きな効果を発揮していることから、固体音の寄与率が高いと言われる居室騒音の低減対策にも使用可能ではないか？という発想の基に開発に着手しました。

陸上で用いられていた防音室を試験搭載し騒音計測を実施し、オリジナル仕様でも十分な騒音低減効果があることを確認しましたが、更なる性能向上に向けた改良を加え、改めて実船試験を行なったところ、低周波から高周波まで広範囲の周波数帯域で非常に大きな騒音低減効果を確認しております。

また建築法令における防火要件・騒音低減効果は十分なものを有しておりましたが、船舶における防火要件や仕切材の音響透過損失に関する要件は陸上と異なるため、船舶用の要件を満たすべく材料や構造の改良を加え、良好な試験結果を以って日本海事協会（NK）の型式承認を取得しております。現在、国土交通省（JG）型式承認についても取得の準備を進め、あわせて、その他海外船級への確認作業も進めております。

当面は騒音環境が厳しいといわれる比較的小型船の中でも、特に騒音規制の基準値クリアが厳しいと予想される下層デッキの居室などに照準を絞って営業を展開。また、機関制御室や舵機室のテレフォンブースなど、非常に騒音レベルが高く実務上有用な場所への設置や、カラオケルーム、機関室内休憩室としての利用など、騒音規制対策のみならず、乗組員の労働環境や福利厚生改善の観点からも防音室を展開していく所存です。

また将来的には中小型造船工業会作成の「Janssen 法による船内騒音予測プログラム」を導入し、造船所と連携した検討に基づいた提案も目指しております。

どこまでも静かに。いつまでも快適に。

